

JIS

ファインセラミックスー可視光応答形光
触媒材料の空気浄化性能試験方法ー
第6部：小形チャンバーを用いた
ホルムアルデヒドの除去性能

JIS R 1751-6 : 2020

(JFCA/JSA)

令和2年10月20日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	秋 山 進	株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌 田 実	東京大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木 村 たま代	主婦連合会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈 良 広 一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 迩 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 25.2.20 改正：令和 2.10.20

官 報 掲 載 日：令和 2.10.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ファインセラミックス協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 1-2-6 ランドマーク芝公園 TEL 03-3431-8271)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号及び単位	3
5 原理	4
6 装置	4
7 試験条件	6
7.1 一般	6
7.2 除去量の性能試験の条件	6
7.3 各種環境因子の除去効果への影響の測定の条件	7
8 試験条件の検証	8
8.1 試験条件の監視	8
8.2 小形チャンバーの気密性	8
8.3 小形チャンバー内の換気回数	8
8.4 小形チャンバー内の換気性能係数	8
8.5 回収率	8
9 小形チャンバーの準備	8
10 試験片	9
10.1 試験片の準備	9
10.2 試験片の前処理	9
11 試験方法	9
11.1 バックグラウンド濃度及びトラベルブランクの測定並びに試験用ガスの供給	9
11.2 小形チャンバー内での試験片の設置	9
11.3 暗条件における試験	9
11.4 除去量の測定	9
11.5 各種環境因子の除去効果への影響の測定	10
11.6 空気捕集	10
12 ホルムアルデヒドの分析	10
13 除去速度、ガイドライン値における除去速度及び換気量換算値の算出及び結果の表し方	10
14 試験報告書	10
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	13
解 説	19

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ファインセラミックス協会（JFCA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS R 1751-6:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS R 1751 の規格群には、次に示す部編成がある。

- JIS R 1751-1** 第 1 部：窒素酸化物の除去性能
- JIS R 1751-2** 第 2 部：アセトアルデヒドの除去性能
- JIS R 1751-3** 第 3 部：トルエンの除去性能
- JIS R 1751-4** 第 4 部：ホルムアルデヒドの除去性能
- JIS R 1751-5** 第 5 部：メチルメルカプタンの除去性能
- JIS R 1751-6** 第 6 部：小形チャンバーを用いたホルムアルデヒドの除去性能

ファインセラミックス—可視光応答形光触媒材料の 空気浄化性能試験方法—第 6 部：小形チャンバーを 用いたホルムアルデヒドの除去性能

Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)—
Test method for air purification performance of
photocatalytic materials under indoor lighting environment—
Part 6: Removal of formaldehyde by small chamber method

序文

この規格は、2014 年に第 1 版として発行された **ISO 18560-1** を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、可視光応答形光触媒を主に板材、壁紙などの建築材料の表面に担持させた光触媒材料の空気浄化性能のうち、**JIS A 1901** に規定する小形チャンバーを用いて、室内環境などが可視光照射されている条件での、ホルムアルデヒド除去性能を試験する方法について規定する。ただし、粉状及び粒状の光触媒材料には、適用しない。

この規格は、空気浄化を目的とした可視光応答形光触媒材料に適用し、水質浄化、セルフクリーニング、防曇、抗菌、抗かび、抗ウイルスなどのその他の光触媒材料の機能を評価するものではない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 18560-1:2014, Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)—Test method for air-purification performance of semiconducting photocatalytic materials by test chamber method under indoor lighting environment—Part 1: Removal of formaldehyde (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1901 建築材料の揮発性有機化合物 (VOC)、ホルムアルデヒド及び他のカルボニル化合物放散測定方法—小形チャンバー法